

平成 29 年度学校評価報告書（目標設定）

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①生徒の実情やニーズを踏まえた多様な学習機会の整備を図る。 ②生徒の学習意欲を向上させ、基礎的・基本的な知識の習得とそれらを活用する力を育む取組を充実させる。 ③総合的な学習の時間を充実させ、基礎学力の充実、キャリア支援を図る。	①異校種間連携の取り組みを進め、柔軟な教育課程の運用を図る。 ②生徒の能力や適性に合った授業方法や教材の工夫改善に取り組むことより、授業力向上を図る。 ③9分総合の指導内容や指導方法を充実させ、指導の体系化を図る。	①定通併修の連携を具体化し、生徒の柔軟な学びができる教育課程の検討を進める。 ②教科担当者間の情報交換を活発化し、定期試験問題の共通化、効果的な指導法の開発に取り組む。 ③9分総合の充実を目指した計画立案と実践を行う。	①定通併修による連携や、教育課程の構築を図ることができたか。 ②定期試験の共通化を図ることができたか。効果的な指導法の開発に取り組むことができたか。 ③9分総合を計画的に実践することができたか。					
2 生徒指導・支援	①生徒一人ひとりの抱える課題を踏まえたきめ細かな生活指導と相談体制を充実させる。 ②部活動を充実させ、生徒が有能感を感じられる取組を進める。	①生徒一人ひとりが抱える困り感やニーズについて全職員が共通した理解をもって、課題解決に向けて組織的支援・指導を行う。	①SSW等を活用した研修等を教職員等向けに開催したり、ケース会議を開催したりすることで、生徒一人ひとりが抱える課題を全職員が共通に把握し、SCやSSWを有効活用し、事案に対し適切に対応する。	①計画的に研修や会議等を行い、生徒一人ひとりが抱える課題を共有し、課題解決に向けて組織的な対応を行うことができたか。					
3 進路指導・支援	生徒一人ひとりの自己実現を目指した体系的なキャリア教育を推進する。	生徒のキャリア意識を高めるため、4年間を見通した組織的な進路指導・教科指導を行い、進路決定、進級・卒業につながる教育活動を推進する。	キャリア教育実践プログラム(1～2年目)やシチズンシップ教育(1～3年目)を充実させ、組織的・系統的なキャリア支援体制で、進路指導に取り組む。	進路決定、進級・卒業に対する生徒の意識を高め、進路実現につなげることができたか。					
4 地域等との協働	保護者や地域に信頼される学校を目標として、学校行事や地域貢献活動を通じた開かれた学校作りを推進する。	保護者や地域住民等と協働・連携した教育活動を展開し、ホームページや学校説明会等により広報活動を積極的に展開する。	地域貢献活動やボランティア活動への生徒の参加を積極的に支援し、より多くの情報発信を行う。	地域貢献活動・ボランティア活動への参加意識を高めることができたか。学校説明会やホームページ等の活用により、情報公開をより進めることができたか。					

5	<b>学校管理</b> <b>学校運営</b>	①生徒にとって安全・安心な学校づくりに取り組む。 ②教職員が事故・不祥事防止に努める。	① 生徒の交通安全・防災・食生活に関する意識を向上させる。	① 授業や講演会、各種説明会、講習会、訓練等の内容や方法を工夫し、指導の充実を図る。	① 各種指導を通して、交通安全・防災・食生活に関する生徒の意識を向上させることができたか。					
---	----------------------------	--	-------------------------------	--	---	--	--	--	--	--